

Mascot Server version 2.7 Windows 版 アップグレード手順

この書類は、version 2.6 の Mascot Server(Windows 版)を **version 2.7** へアップグレードする手順について説明しています。**新規にインストール**する場合はインストール DVD 内 または弊社日本語資料サイト上の [Mascot_Server_v2.7_Win_新規インストール手順.pdf](#) をご覧ください。

● ver. 2.7 アップグレードで特に注意して頂きたい事

- ▼ アップグレード操作の前に、**ver.2.6 のライセンスシリアル情報**を弊社までお送り頂く**必要があります**。お送り頂いた情報を元に ver.2.7 用の新たなライセンスを発行しお送りいたします。詳細は手順「**1-1.ver.2.6 情報の弊社への送付**」(P.4～)をご覧ください。
- ▼ 日本で購入されたライセンスのみ、ver.2.7 では **ICPライセンスあたりで使用できるコア数が 4 から 6 へ増加**します。コンピュータに余剰コアがある場合、検索速度の向上が見込まれます。
- ▼ 別の PC への移行をご検討の場合、恐れ入りますがその旨弊社までご連絡ください。
- ▼ 作業前にデータのバックアップを取っていただく事を強く推奨いたします。(手順「**1-2.バックアップ**」(P.5～)をご参照ください。)
- ▼ オンラインによるライセンス認証を行います。MASCOT Server が **インターネットへの接続ができるかご確認ください**。ただし以降の手順で記されているように接続できない場合にも対処法がございます。

● アップグレード操作前に必要な事

アップグレード操作前に、ver2.6 ライセンス情報の弊社への送付と外付けディスクなどへのバックアップが必要となります。詳細はアップグレード手順「**1. MASCOT Server ver2.6 情報の弊社への送付と関連ファイルのバックアップ**」(P.4～)をご覧ください。

● アップグレード時に準備するもの

1. Mascot Server version 2.7 のインストール DVD
2. MASCOT Server のプロダクトキー情報 (ver.2.7 用、英数字 4×5 = 20 文字)
3. MASCOT Server のインターネットへの接続環境 (接続できない場合でも別途方法有)
4. Windows へログインするユーザー名とパスワード (Admin 権限が必要)
5. **(MASCOT Security 機能を使っている場合)** MASCOT Administrator 権限を持つユーザー名とパスワード

● アップグレード作業の流れ

******最低限、5 までのステップで MASCOT Server が動くようになります。******

1. MASCOT ver.2.6 ライセンス情報の弊社への送付とバックアップ
2. windows へのログオン
3. 起動中の他アプリケーションソフトウェアの終了
4. MASCOT Server ver. 2.7 へのアップグレード
5. MASCOT Server の ライセンス認証
6. MASCOT Server のデータベース環境設定画面を開く
7. ファイルダウンロードとデータベース構築確認
8. MASCOT Server の動作確認
9. MASCOT Daemon アップグレード (別資料、ご利用の方のみ)

● アップグレードに要する時間

アップグレードの操作自体は 30 分以内に終わりますが、以下の 2 つの要素により作業の前後で大きく時間がかかる事があります。

■ アップグレード作業前:ライセンス情報送付とバックアップ

ライセンス情報をお送り頂き、新たなシリアルライセンスを返送するまでに1~2 営業日かかる事があります。またバックアップはファイルサイズにより大きく前後します。特にこれまでの検索で結果ファイルが大量にある場合は遅くなり、**場合によっては数時間かかる**事があります。

■ アップグレード作業後:データベースダウンロード、再構築

目安の作業時間には、バージョンアップ後自動的に行われるデータベースファイルの更新の時間を含めていません。構築完了までの大まかな目安として 1 時間~3 日程度かかります。特に NCBIprot などサイズの大きなデータベースはダウンロードやデータベースの構築に時間がかかります。構築完了したデータベースは検索可能ですが、構築中のデータベースが残っている場合、動作が遅くなります。

● インストールチェック表

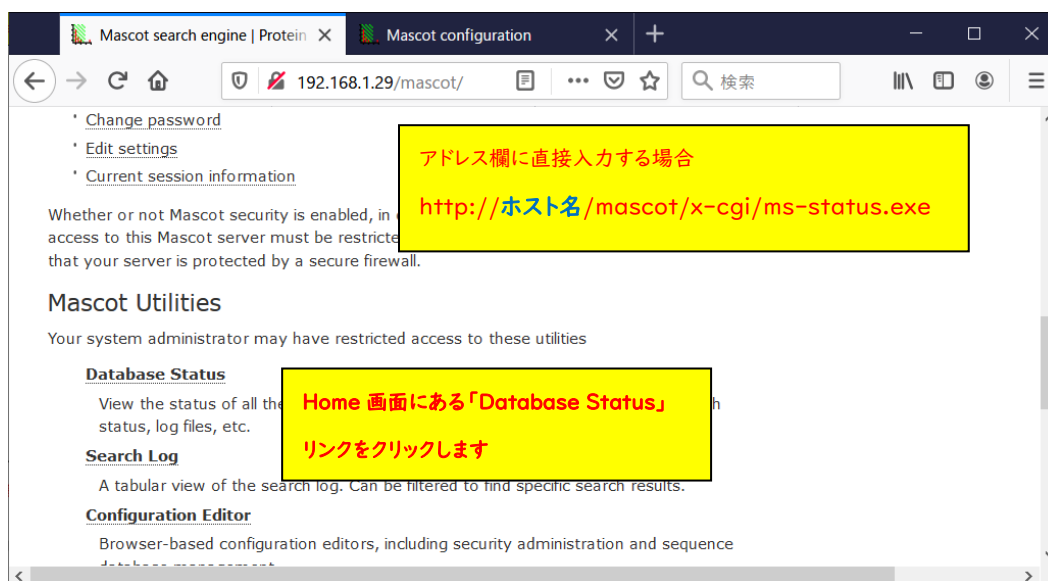
項目	チェック	該当 P
作業前:以下のものを準備		
ver. 2.7 インストール DVD		
ver.2.7 のプロダクトキー(英数字 4×5=20 文字) : 手順 1-1 により取得		
コンピュータのインターネットへの接続 (接続できない場合も別途方法有、詳細は手順書 5,P.14~をご参照ください)		
MASCOT Server コンピュータへのログインユーザー名とパスワードの確認		
(MASCOT Security 機能ご利用の方) MASCOT Administrator 権限を持つユーザー名とパスワード(わからない場合もサーバーへログインしてセキュリティ機能をオフにすれば作業可能です)		
作業内容		
1. MASCOT Server ver2.6 情報の弊社への送付と関連ファイルのバックアップ		4
1-1. ver.2.6 情報の弊社への送付		4
1-2. MASCOT Server 現環境のバックアップ		5
2. Windows へのログオン		6
3. 起動中の他アプリケーションソフトウェアの終了		6
4. MASCOT Server version 2.7 アップグレード		6
[Cluster ご利用の方] インストール途中 : Cluster ノード設定		9
[Cluster ご利用の方] インストール後 : MASCOT Service 設定		11
5. MASCOT Server ライセンス認証		14
5-1. ライセンス認証画面表示		14
5-2. ライセンス認証サイトへのアクセス		15
5-3. ライセンス認証		17
6. MASCOT Server のデータベース環境設定画面を開く		22
7. ファイルダウンロードとデータベース構築確認		25
7-1.ダウンロード進捗の確認		25
7-2.ファイルの変換・検索テスト進捗の確認		26
8. MASCOT Server の動作確認		27
8-1. Database status 画面、Status 項目”In use”確認		27
8-2. 過去の検索結果の閲覧		28
8-3. 検索テスト		28
9. MASCOT Daemon アップグレード		別紙

● アップグレード手順

1. MASCOT Server ver.2.6 情報の弊社への送付と関連ファイルのバックアップ

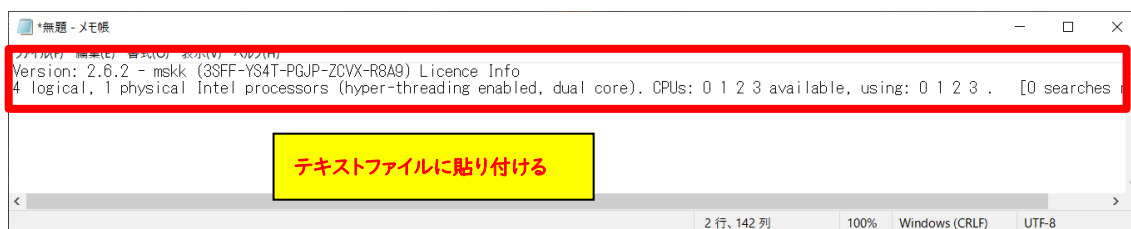
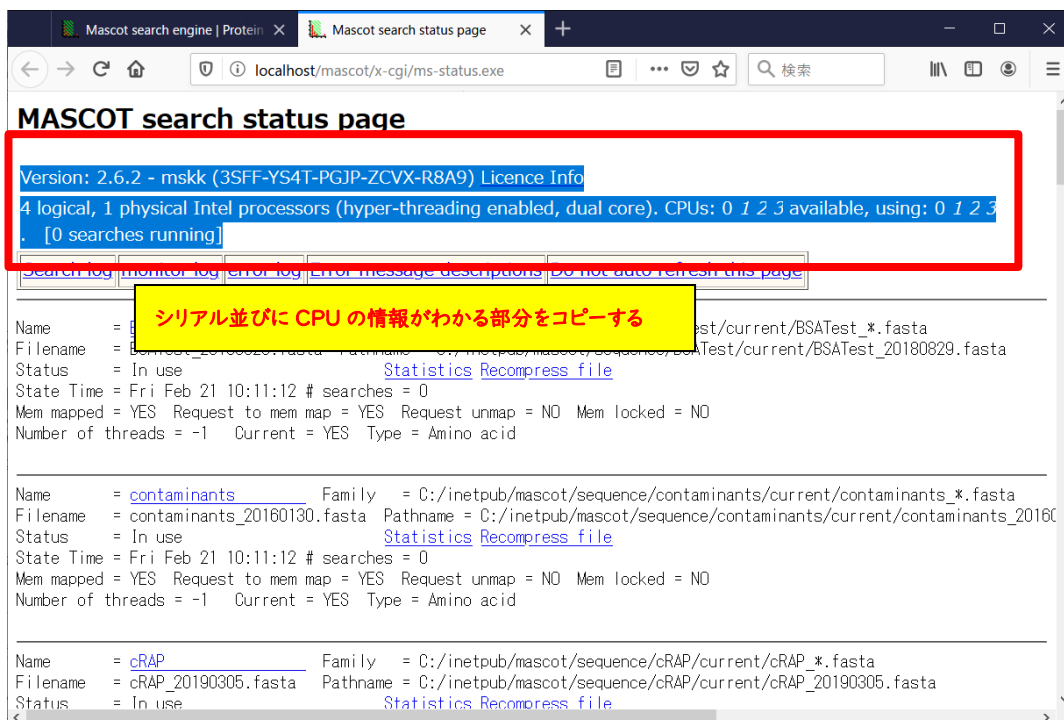
■ 1-1. ver.2.6 情報の弊社への送付

アップグレード前に、**現在使用している MASCOT Server ver.2.6 のライセンスシリアル並びに関連情報を弊社までお送り頂く必要がございます。**ウェブブラウザで Mascot Home の画面から **Database Status** (画面中ほど、Mascot Utilities セクションにあるハイパーリンク) をクリックするか、アドレス部分に以下の URL 情報を入力・エンターを押して、Database Status 画面を開きます (*「**ホスト名**」と記述している部分には各 PC のホスト名または IP アドレスを入力してください)。



Database Status 画面の上から 2 行目に、MASCOT Server のバージョンが記されています。次頁図のように、シリアル、CPU 情報がわかる 3 行 (または 2 行) をコピーして、テキストファイルに貼り付けてください。

- * Database Status 画面で Error の表示が出ている場合は MASCOT サービス、データベースに関するトラブルが発生している事が考えられます。**一度 PC を再起動して頂き再度 Database status ページをご確認ください。**トラブルが解決しないようでしたら弊社までご連絡ください。



上記ファイルそのものを添付ファイルとして、あるいはファイルの内容をコピーしてメールの本体に貼り付け、**弊社へメールをお送りください。**

メールアドレス：support-jp@matrixscience.com

件名 (例, 必須ではありません) : ver.2.7 ライセンスについて

折り返し1~2営業日以内に、弊社より新たな ver.2.7 用のシリアルライセンス (英数字 4 x 5 = 20 文字) をお送りいたします。

■ 1-2. バックアップ

Mascot Serverがインストールされているフォルダ (通常のインストールでは C:%Inetpub%Mascot フォルダ) 全体をバックアップしてください。

バックアップの方法は各ユーザー様にお任せいたします。やり方がよくわからない場合、外付け

ハードディスク、または D ドライブなど MASCOT の dat ファイルバックアップ用に備え付けられた内部ハードディスクに「mascotbk20200314」などのフォルダを作成し、そこへ C:¥Inetpub¥mascot フォルダを丸ごとファイルコピーする方法をお勧めいたします。コピー先フォルダの残り容量にご注意ください。

2. Windows へのログオン

Administrator 権限 (管理者権限) を持ったユーザーでログオンしてください。弊社納入コンピュータをご利用の場合通常は Administrator 権限を持つ mascot ユーザーが作成されています。mascot でログオンしてください。

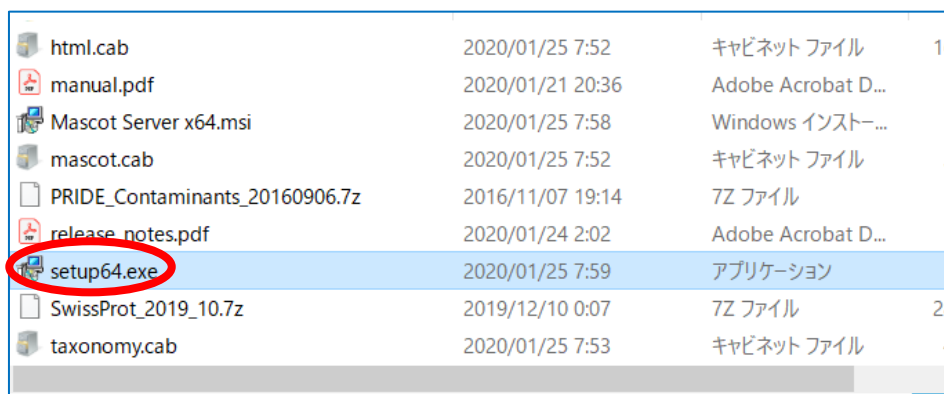
3. 起動中の他アプリケーションソフトウェアの終了

アップグレード作業を行う前に、起動している他のアプリケーションソフトウェアを終了してください。

4. MASCOT Server ver. 2.7 へのアップグレード

Mascot Server version 2.7 のアップグレードに要する時間は、DVD 内に予め準備されているデータベースファイル SwissProt リリース 2019_10, PRIDE_Contaminants_20160906 のセットアップも含め 30 分以内です。

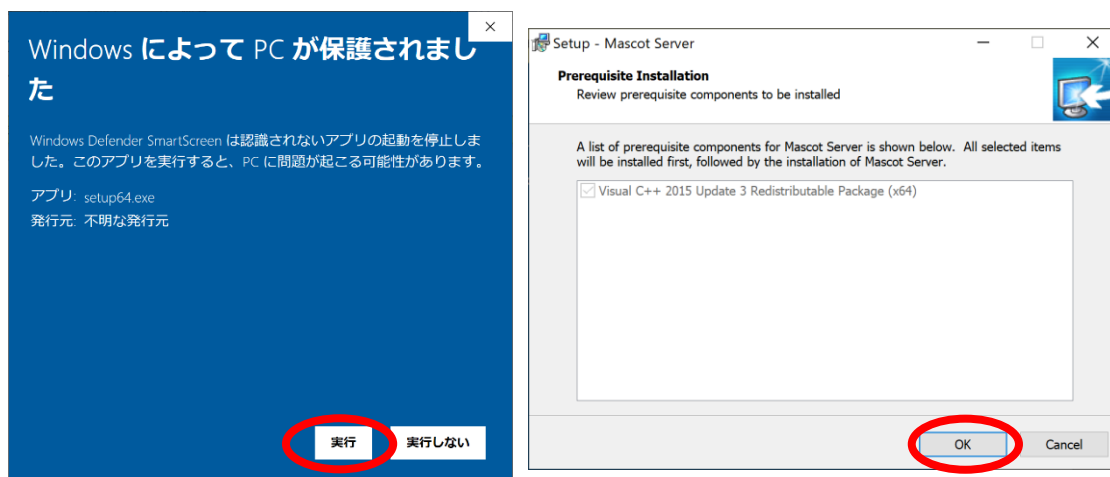
初めに ver.2.7 のインストール DVD を光学ドライブに挿入してください。DVD は MATRIX_SCIENCE という名称でマウントされます。**setup64.exe** をダブルクリックしてください。



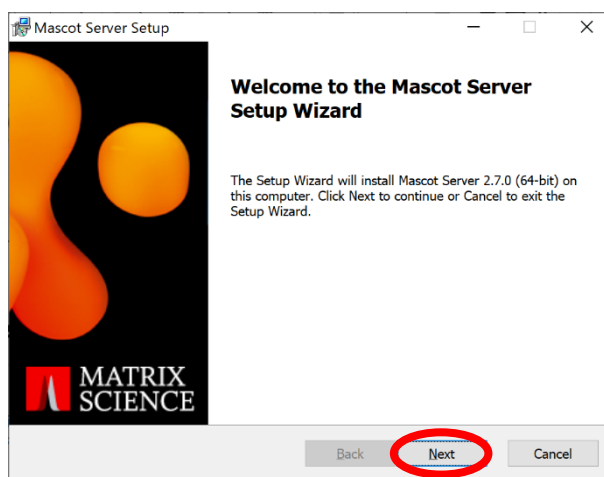
ファイル名	最終更新日時	ファイルの種類	サイズ
html.cab	2020/01/25 7:52	キャビネット ファイル	16
manual.pdf	2020/01/21 20:36	Adobe Acrobat D...	
Mascot Server x64.msi	2020/01/25 7:58	Windows インスト...	
mascot.cab	2020/01/25 7:52	キャビネット ファイル	3
PRIDE_Contaminants_20160906.7z	2016/11/07 19:14	7Z ファイル	1
release_notes.pdf	2020/01/24 2:02	Adobe Acrobat D...	
setup64.exe	2020/01/25 7:59	アプリケーション	
SwissProt_2019_10.7z	2019/12/10 0:07	7Z ファイル	28
taxonomy.cab	2020/01/25 7:53	キャビネット ファイル	4

windows 側に、下図左のようにインストーラーの実行について確認を求められることがありますが「**実行**」を選択してください。

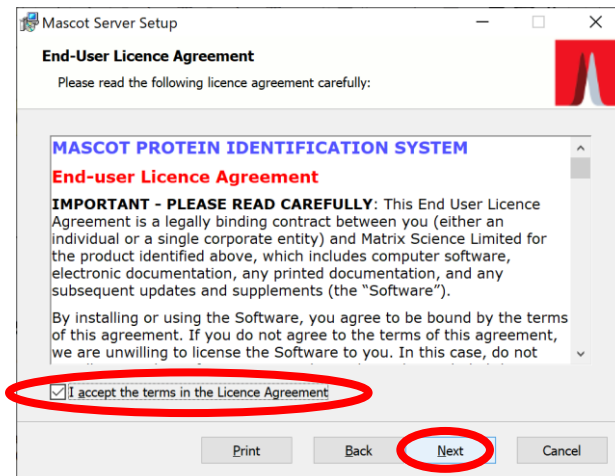
また下図右のように関連プログラムとして、VisualC++ 2015 などの インストールを MASCOT のインストール前に求められる事があります。特に問題がなければインストールを行ってください。



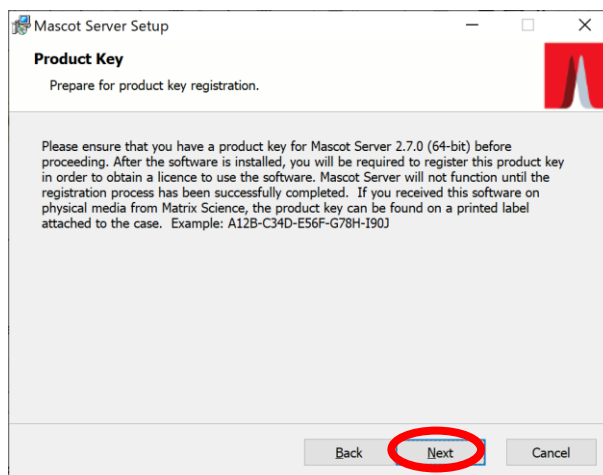
関連プログラムのインストールが終わると、MASCOT Server のバージョンアップが始まります。「**Next**」を押してください。



License Agreement が表示されます。
 内容をご覧いただき、特に問題がなければ
「I accept the terms in the License Agreement」にチェックを入れ、**「Next」**を
 押してください。

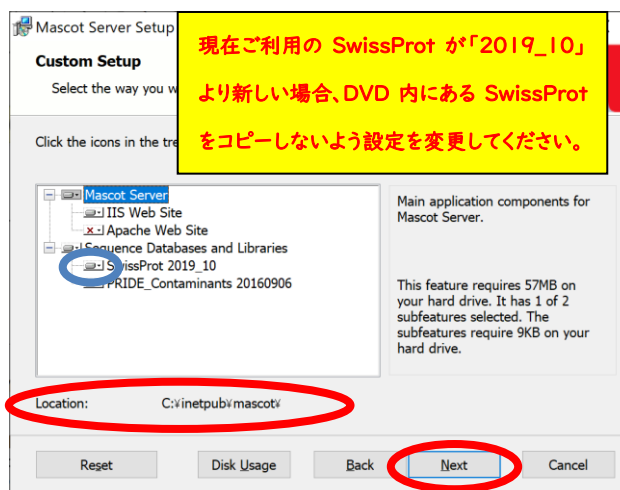


プロダクトキー入力が必要であることを
 通知する画面が表示されます。**「Next」**を
 押してください。



インストール内容とインストール箇所を確認する画面が現れます。**「Location」**として
 ver.2.6 で使用していたフォルダが指定されて
 いるか、ご確認ください。

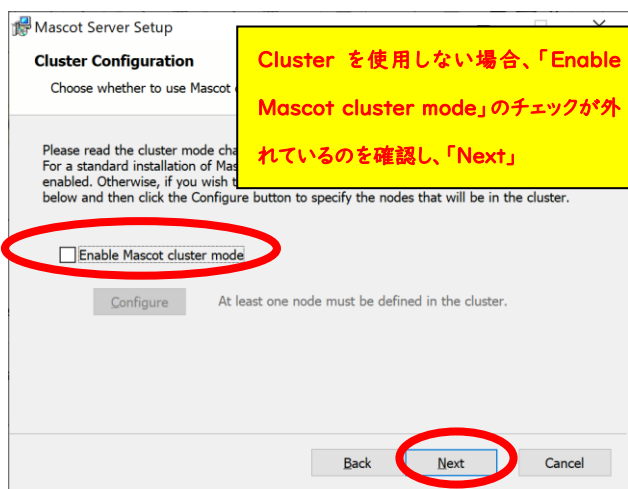
またご利用の SwissProt のバージョンが
「2019_10」より新しい場合、**「Sequence Database and Libraries」**において、これを
 インストールしないように右図内の**青い丸の中**
にあるハードディスクマークをクリックし、Xに
 変更してください。設定後、**「Next」**ボタンを
 押します。



続いて Cluster システムの設定を行います。

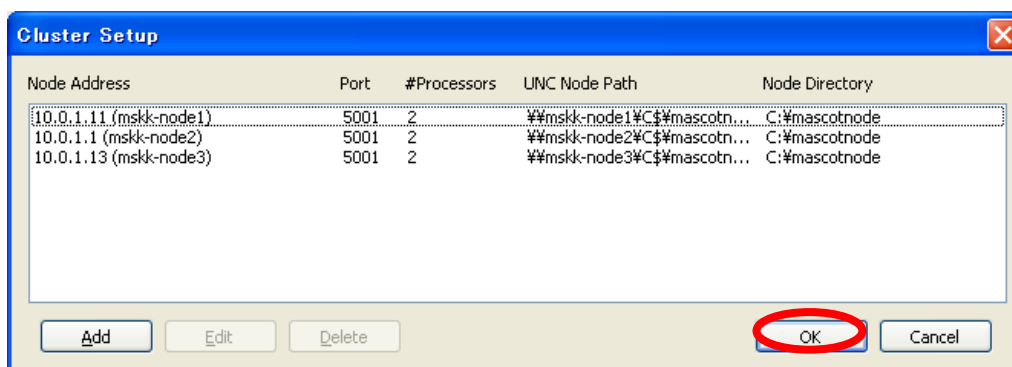
Cluster システム を利用しておらず 1 台の PC だけで MASCOT Server の計算を行う場合、チェックが付いていないのを確認してから「Next」ボタンを押してください。その場合以下の Cluster 利用者向けの設定に関する記述箇所を飛ばしてください。なお通常は Cluster を使っておらずチェックをはずす方が正しい設定です。Cluster システム（複数台の PC を利用する構成）をご利用の方は「Enable Mascot Cluster mode」にチェック

を入れ、「Configure」ボタンを押して node PC に関する設定が正しいかを確認してから「Next」ボタンを押してください（以下緑色の記述箇所をご参照ください）。



**** 【Cluster システム をご利用の場合】 Node に関する設定 の確認****

Nodeに関する設定が現れます（下図）。



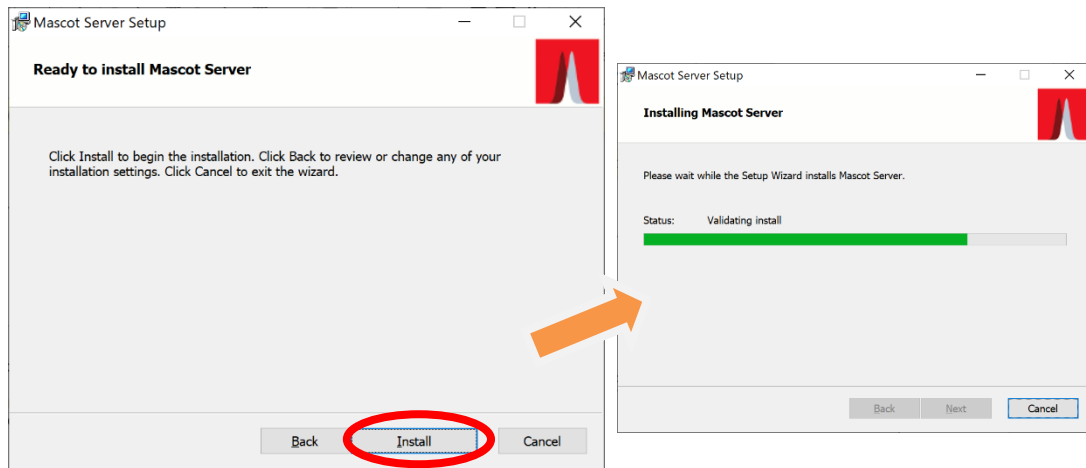
以下の設定が正しいか、一度確認してください。

- ・ nodeのIPアドレスと名称
- ・ Port番号（デフォルトは5001と設定されているケースがほとんどです）
- ・ nodeが使用するプロセッサ数（1プロセッサあたり6コアまで）
- ・ UNC Node Path 。通常は ¥#PC名¥C:¥#mascotnode(あるいはmsnode)です。
- ・ Node Directory。通常は C:¥#mascotnode(あるいはmsnode)です。

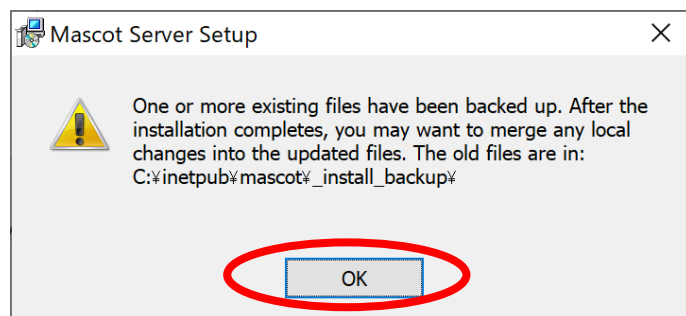
設定が確認できましたら、「OK」ボタンを押してください。

* Clusterのケースにおける設定終わり

すべての項目を設定し終わると、インストール開始となります。「Install」ボタンを押してください。ファイルコピーが開始されます。



途中、ver.2.6で使用していた設定ファイルについてバックアップがとられ、その保存場所について示したダイアログが現れます。そのまま「OK」を押してください。



SwissProtなどのデータベース設置を選択した場合、インストール後半で圧縮ファイルの展開と解凍が行われます。その操作中である事を表すコマンドプロンプトが途中表示されます。

```

C:\WINDOWS\Installer\MSI1AA1.tmp

7-Zip (a) [64] 16.04 : Copyright (c) 1999-2016 Igor Pavlov : 2016-10-04
Scanning the drive for archives:
1 file, 291785182 bytes (279 MiB)

Extracting archive: C:\inetpub\mascot\sequence\SwissProt\incoming\SwissProt_2019_10.7z
Path = C:\inetpub\mascot\sequence\SwissProt\incoming\SwissProt_2019_10.7z
Type = 7z
Physical Size = 291785182
Headers Size = 228
Method = LZMA:25
Solid = +
Blocks = 1

39% - SwissProt_2019_10.dat_

```

インストールが完了すると、右図のようなダイアログが現れます。「Open Mascot server status page」のチェックが入っているのを確認した上で、「Finish」ボタンを押してください。



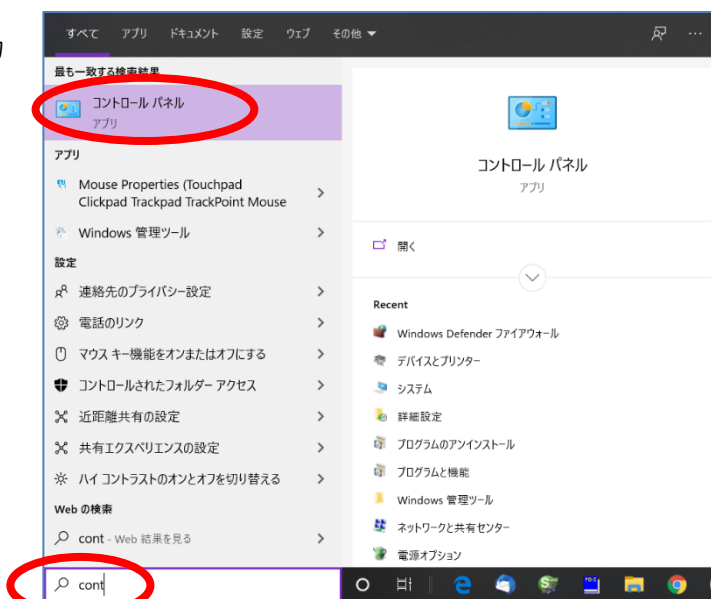
Clusterシステムをご利用の方は現状でMASCOT Serviceが動いていません。ログインユーザーであるmascotにてMASCOT Serviceを動かすよう設定する必要があります。

詳しくは以降の緑線部分:「MASCOT Serviceのmascot ユーザーによる開始設定」をご覧ください。

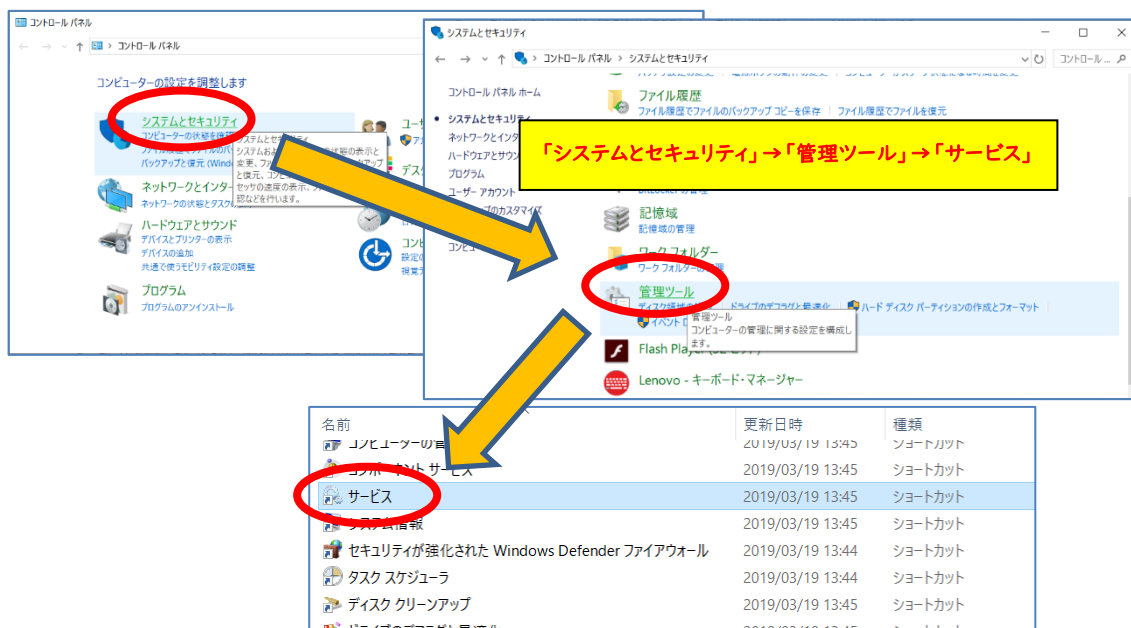
*Cluster システムご利用の場合:MASCOT Service のmascotユーザーによる開始設定

MASCOT Server をClusterシステムでご利用の場合、インストール後MASCOT Server のサービスは自動的に開始されません。MASCOTのサービスを mascotユーザーで開始するよう設定を変更した後、改めてサービスを開始する必要があります。

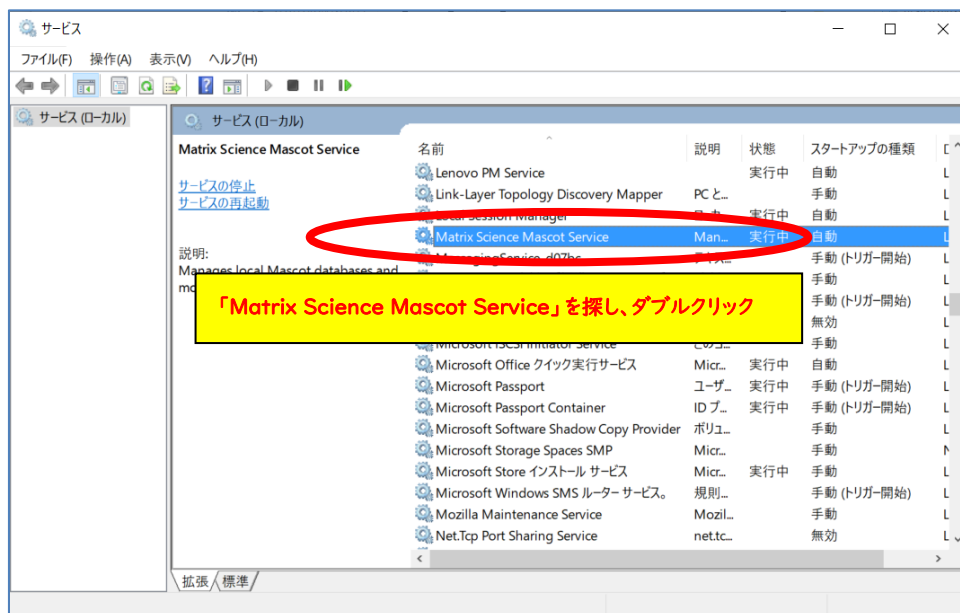
まず、コントロールパネルを起動します。(操作例: windowsマーク右側の検索欄で「control」と入力すると候補に「コントロールパネル」が挙がってくるので選択、など。右図)



コントロールパネルの、「システムとセキュリティ」→「管理ツール」→「サービス」を選びます。



サービス一覧の中で「Matrix Science Mascot Service」という項目を探し、ダブルクリックします (下図)。



「ログオン」タブ内の「**アカウント**」にて、以下の設定を入力します。

・**アカウント**

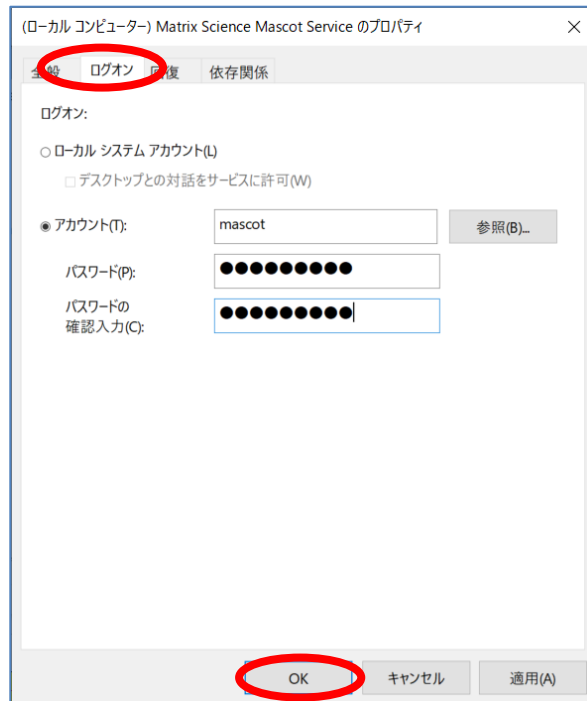
→ ログオンユーザー (mascotなど)

・**パスワード**

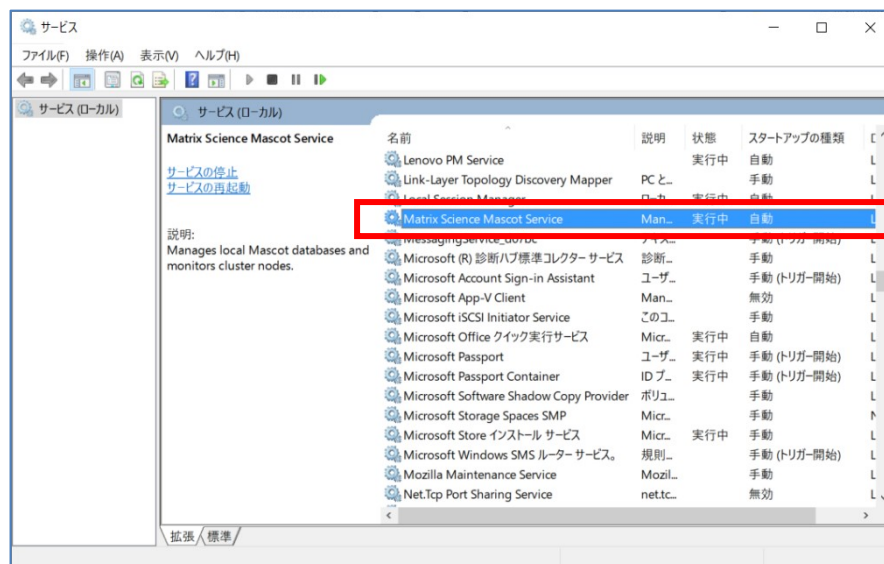
→ mascotユーザーログイン時のパスワード

入力後、「**OK**」ボタンを押します。

例ではアカウントmascotで、パスワードにはmascotのログイン時パスワードを入力しています。

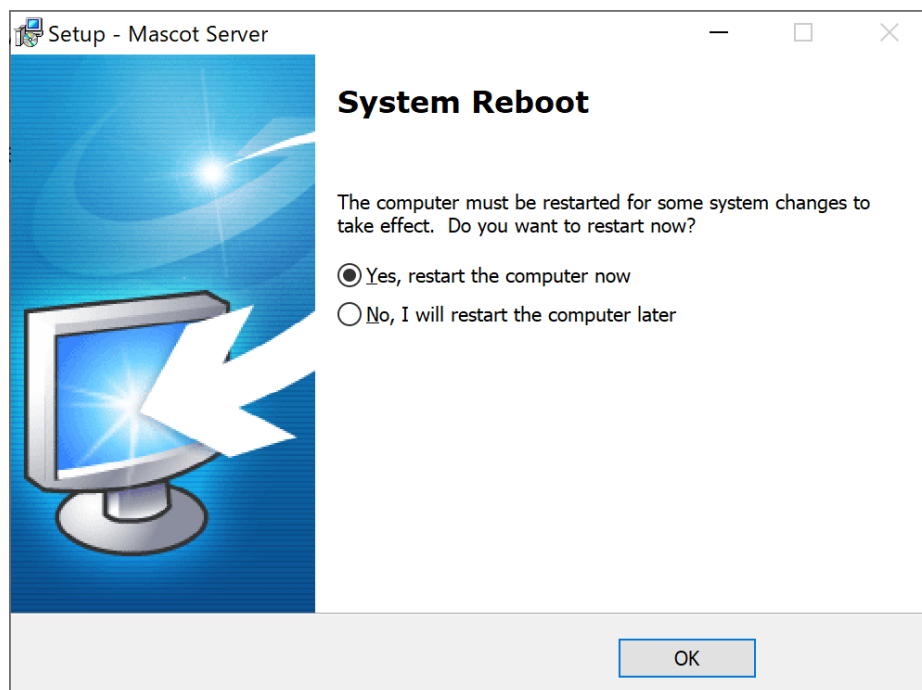


Matrix Science Mascot Service を選んだ状態で右クリック→「**開始**」を選びます。MASCOT Serviceが開始されます。開始時にエラーが出た場合はお手数ですが弊社までご連絡ください。



***** MASCOT クラスターシステム利用者向けの特殊設定終わり *****

状況によってはMASCOTインストール後にシステム再起動が求められることがあります。再起動を実施してください。



5. MASCOT Server の ライセンス認証

アップグレード後、**ライセンスの登録と認証が必要となります。ver.2.6 からアップグレードを行ったお客さまも、ver.2.7 用のライセンスで登録と認証を再度行う必要があります。**ライセンス認証は WEB ブラウザ画面を通じて行います。**ライセンス登録と認証は基本的にオンラインで行うため、MASCOT Server コンピュータ(あるいは server へ接続している別の PC) をインターネットへ接続した方が簡単に認証できます。**但し PC を直接インターネットへ接続できない場合でもインターネットに繋がっている別の PC からライセンスの登録と認証を行う事ができます。

■ 5-1. ライセンス認証の案内画面を表示させる方法

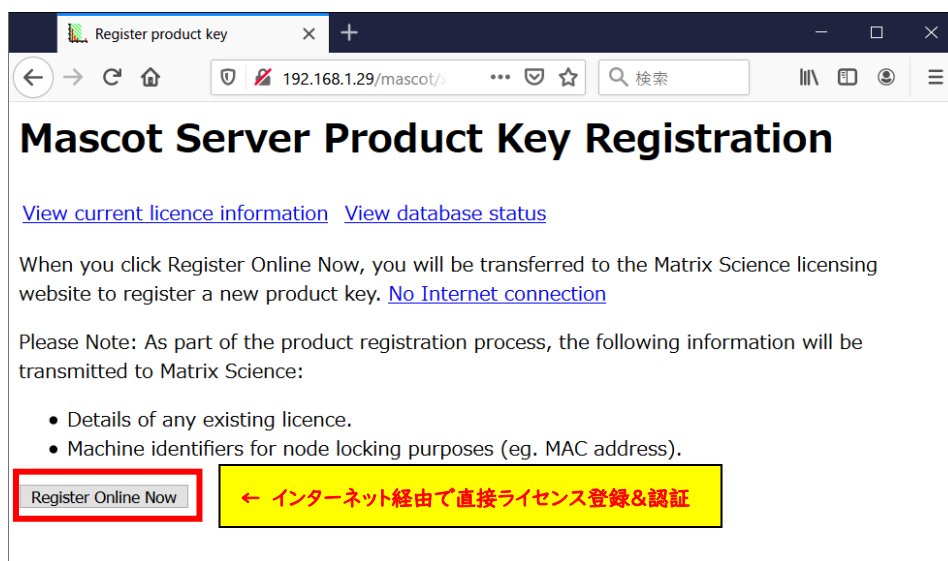
ライセンス認証が完了していない状態で database status (Home ->Database status) を開くと、「Mascot Server Product Key Registration」ページに誘導する画面が現れます。

■ 5-2. ライセンス認証サイトへのアクセス方法

ライセンス認証のサイトへアクセスする方法は、操作をしている端末がインターネットへ接続しているかどうかにより対処法が異なります。直接接続できない場合は登録に必要な情報を集めたファイル「[registration.xml](#)」をserver から入手しておく必要があります。

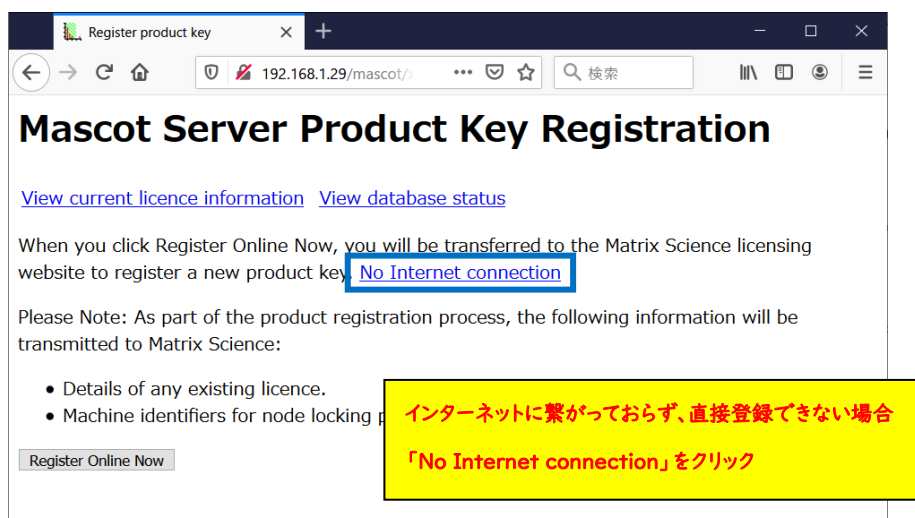
■ 認証操作をしているPCをインターネットに繋いでいて直接登録と認証を行う場合：

案内画面内にある「**Register Online Now**」ボタンを押してください。

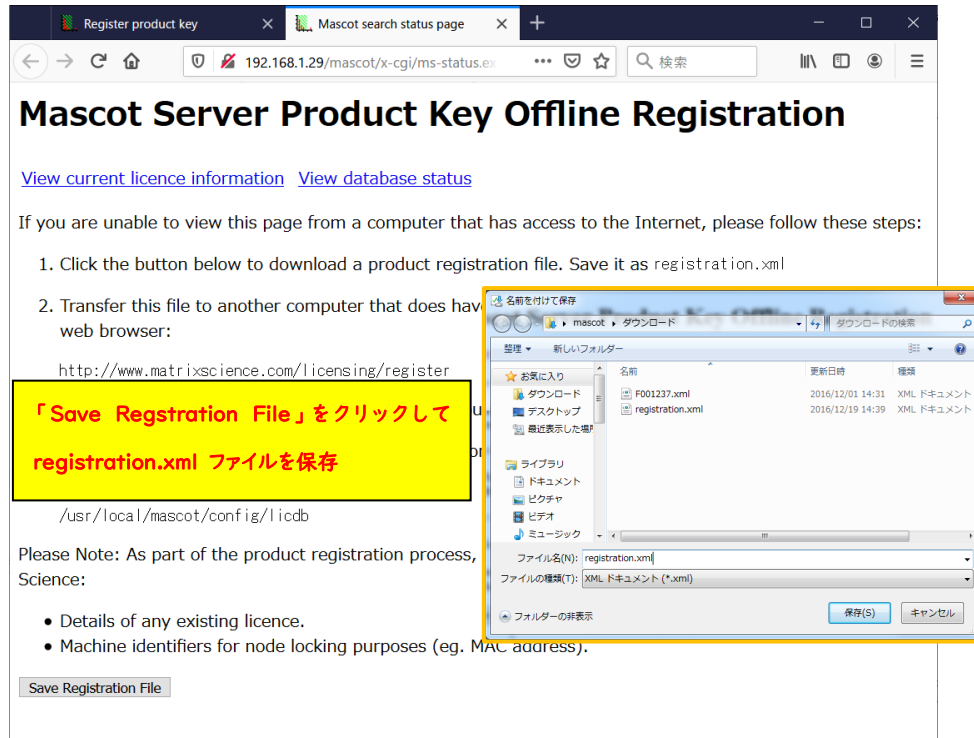


■ 何らかの理由で認証操作をしているPC をインターネットに繋いでいない場合：

案内画面内にある「**No Internet connection**」をクリックします。



遷移した画面で「Save Registration File」ボタンを押して **registration.xml** ファイルを保存してください。



このファイルをインターネットに接続しているPCへ持ち運びブラウザのアドレス部分に

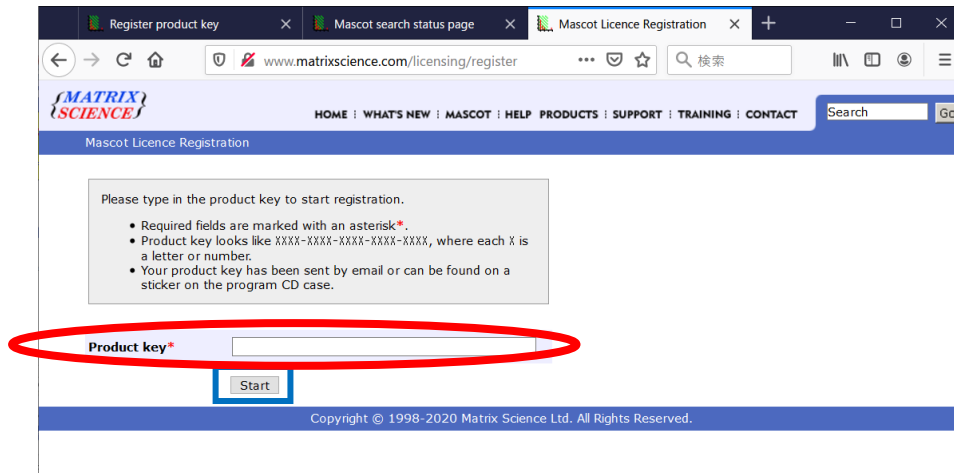
<http://www.matrixscience.com/licensing/register>

と入力して画面を開いてください。



■ 5-3. ライセンス認証

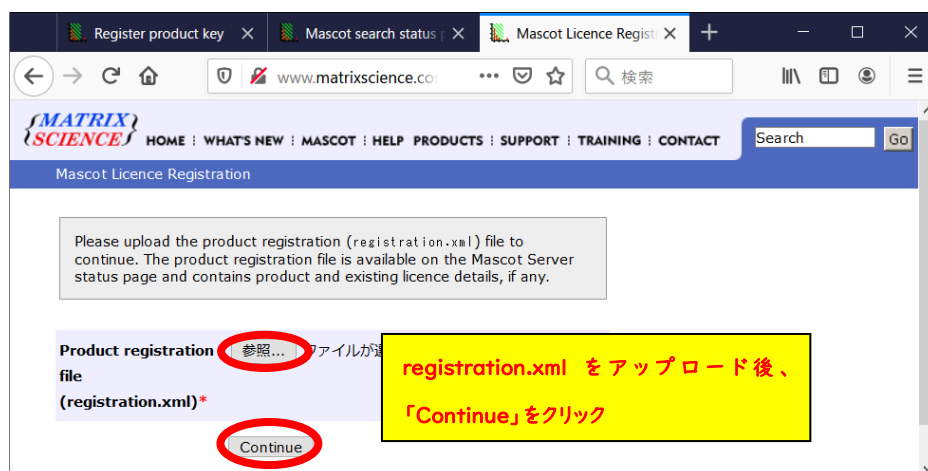
プロダクトキーを入力する画面が現れます。別途お知らせしたver.2.7用のライセンス20文字の半角英数字を、ハイフン付きで入力してください。入力後、「Start」ボタンを押してください。



MASCOT Server から直接認証サイトへ繋いでおらず別端末から接続している場合、以下の操作を追加で行い **registration.xml** ファイルをアップロードしてください。

*別端末でインターネットに繋いでライセンス登録する場合

最初に保存したProduct registration file (registration.xml ファイル)をアップロードする画面が現れます(下図)ので、**registration.xml**ファイルをアップロード→「Continue」をクリックしてください。



***** MASCOTとは別端末でライセンス登録を行う場合に行う追加の操作 終わり

続いてライセンス情報を登録する画面が現れます。赤い * が付いている項目に関しては必須項目ですので必ず入力してください。入力内容については、下図例を参考にしてください。

The screenshot shows the 'Mascot Licence Registration' form on the Matrix Science website. The form includes fields for product details, contact information, and a consent section. Annotations highlight required fields and provide instructions.

Product key []

Product family Mascot Server

Licence type Permanent

Licensed features Version 2.7
Version 2.6
2 CPUs

Old product key []

Email address* takaesu@matrixscience.com

Verify email address* takaesu@matrixscience.com

Full name* Hirotoimo Takaesu

Organisation* Matrix Science Japan

Address line 1* 1-6-10,Higashi-Ueno

Address line 2 []

City* Tokyo

Zip/postcode 1100015

State/region Tokyo

Country* []

Phone number []

Fax number []

Email address (CC) []

Matrix Science may send me technical support information by email, such as the availability of new releases, upgrades, and support contracts.

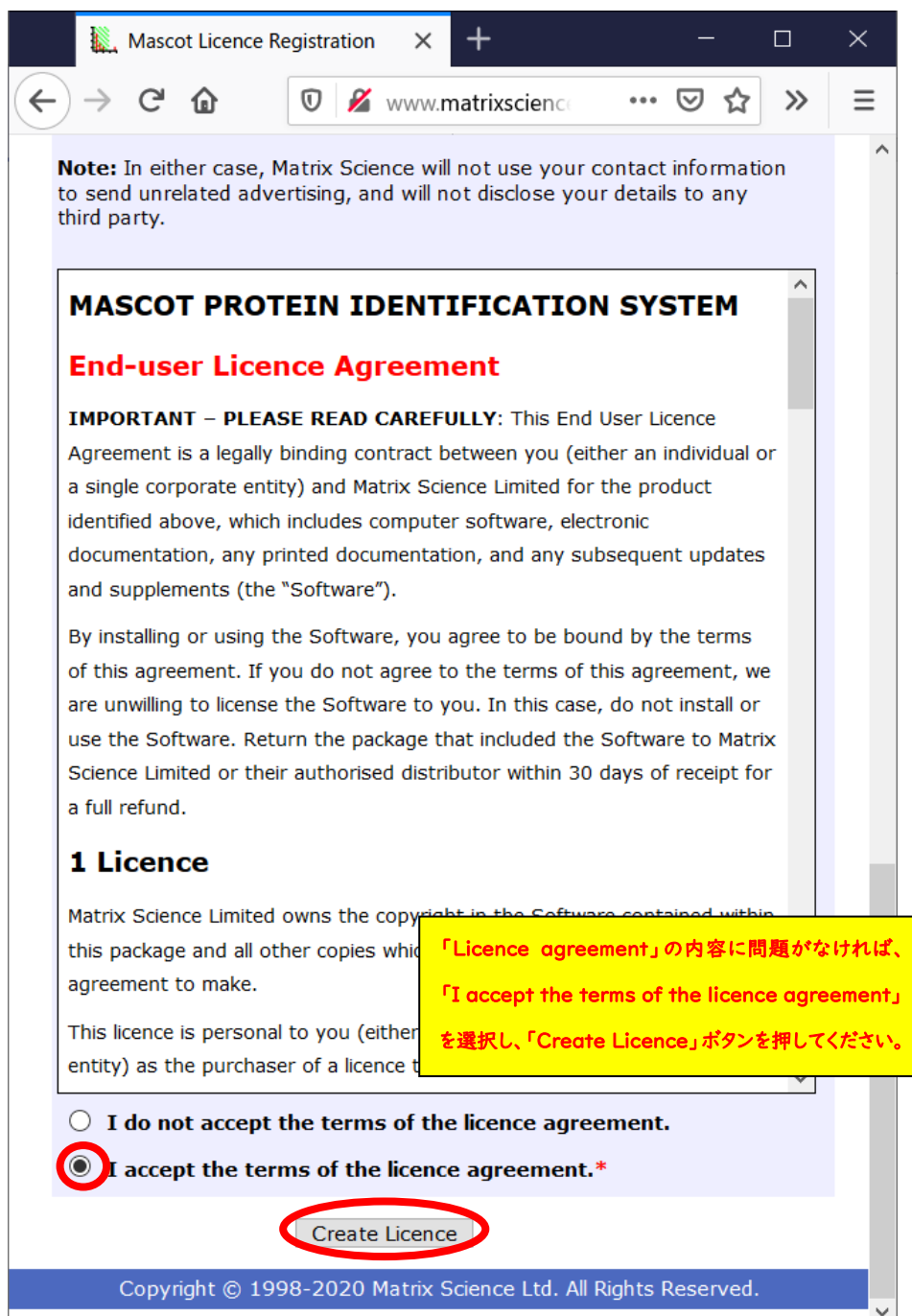
I do not wish to receive any communications from Matrix Science.

Note: In either case, Matrix Science will not use your contact information to send unrelated advertising, and will not disclose your details to any third party.

Annotations:

- Yellow box: *欄は入力必須 日本語×、すべて英語で
- Yellow box: ライセンス登録者とは別の人へライセンスファイルを送りたい場合、「Email address(CC)」欄にメールアドレスを入力してください。また、ここで入力した人が弊社からの各種ソフトウェアのバージョンアップ等のお知らせ(英語版)が必要かどうかを選択してください。
- Red box: Circles the consent section.

画面下部にはMASCOT Server のライセンスに関する規約が表示されます。文章に目を通して問題ない場合には「**I accept the terms of the licence agreement**」を選び、「**Create licence**」ボタンを押してください。



The screenshot shows a web browser window titled "Mascot Licence Registration" with the URL "www.matrixscience.com". The page content includes a note about contact information, a section titled "MASCOT PROTEIN IDENTIFICATION SYSTEM End-user Licence Agreement", and a "1 Licence" section. A yellow callout box highlights the text: "「Licence agreement」の内容に問題がなければ、「I accept the terms of the licence agreement」を選択し、「Create Licence」ボタンを押してください。". Below the callout, there are two radio button options: "I do not accept the terms of the licence agreement." and "I accept the terms of the licence agreement.*", with the second option selected. A "Create Licence" button is also circled in red. The footer contains the copyright notice: "Copyright © 1998-2020 Matrix Science Ltd. All Rights Reserved."

Note: In either case, Matrix Science will not use your contact information to send unrelated advertising, and will not disclose your details to any third party.

MASCOT PROTEIN IDENTIFICATION SYSTEM

End-user Licence Agreement

IMPORTANT – PLEASE READ CAREFULLY: This End User Licence Agreement is a legally binding contract between you (either an individual or a single corporate entity) and Matrix Science Limited for the product identified above, which includes computer software, electronic documentation, any printed documentation, and any subsequent updates and supplements (the "Software").

By installing or using the Software, you agree to be bound by the terms of this agreement. If you do not agree to the terms of this agreement, we are unwilling to license the Software to you. In this case, do not install or use the Software. Return the package that included the Software to Matrix Science Limited or their authorised distributor within 30 days of receipt for a full refund.

1 Licence

Matrix Science Limited owns the copyright in the Software contained within this package and all other copies which you are required to accept this agreement to make.

This licence is personal to you (either an individual or a corporate entity) as the purchaser of a licence to use the Software.

I do not accept the terms of the licence agreement.

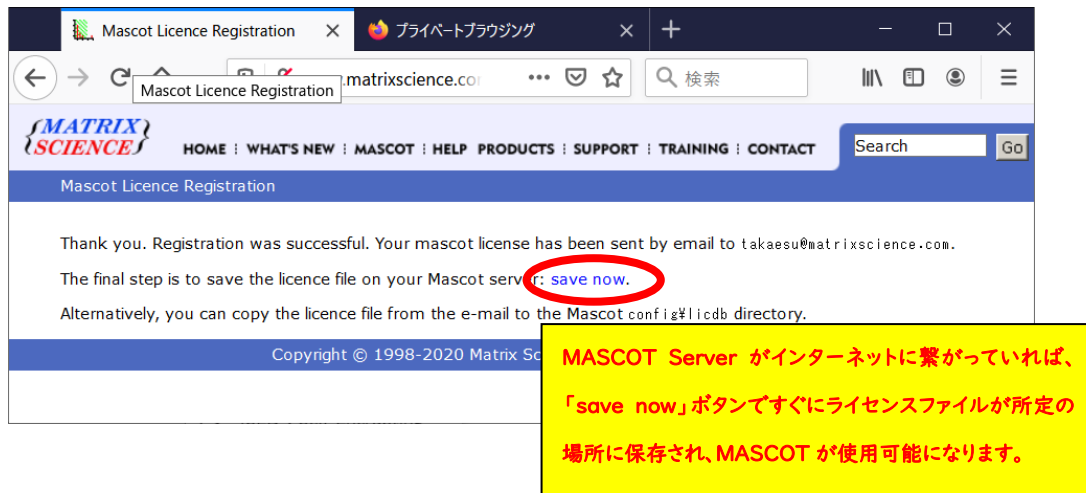
I accept the terms of the licence agreement.*

Create Licence

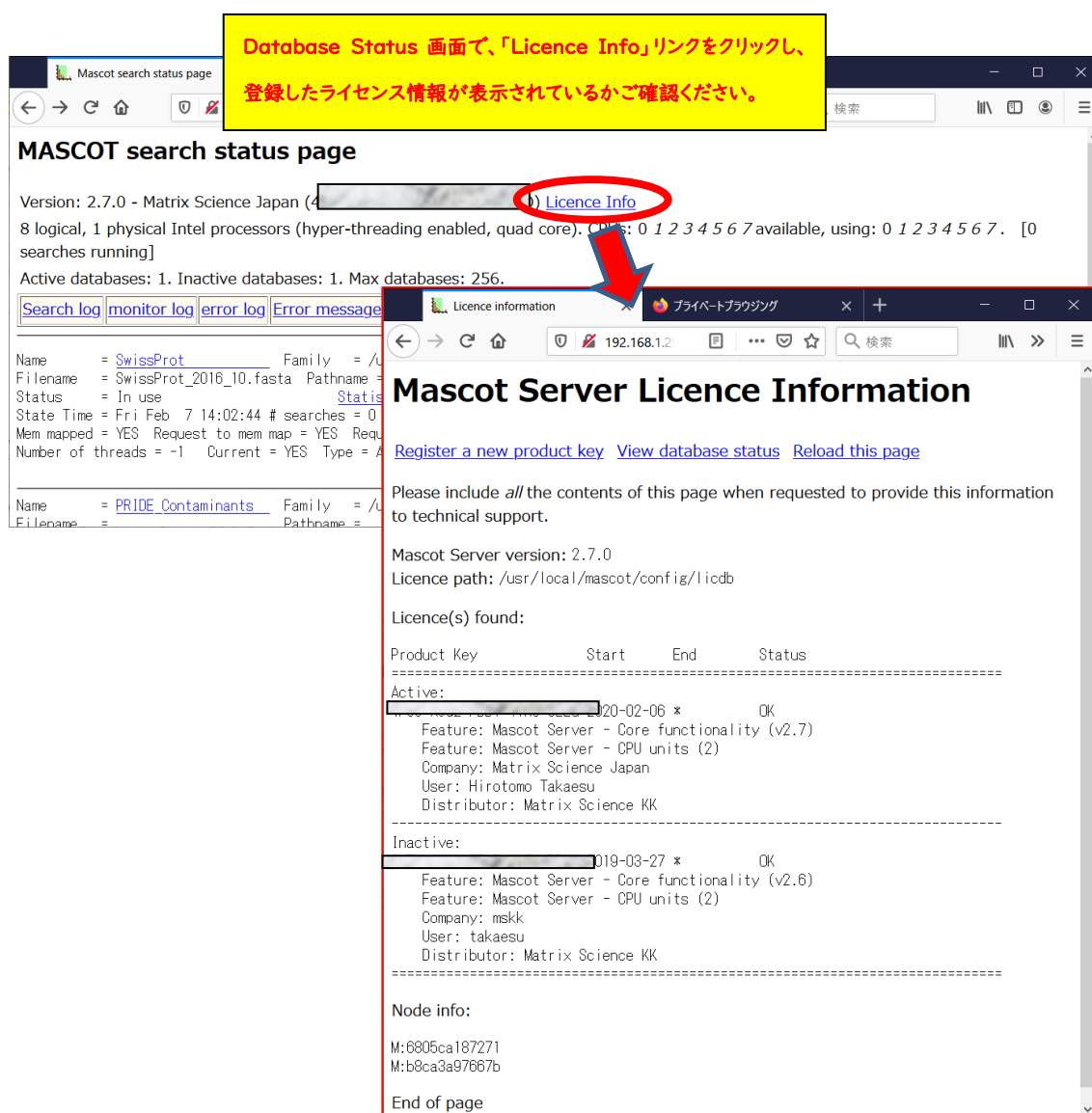
Copyright © 1998-2020 Matrix Science Ltd. All Rights Reserved.

無事登録が終わると以下のような画面が表示され、登録したメールアドレスにライセンスファイルが送付されます。ライセンスファイルは、「(ライセンス文字列).lic」というファイル名です。

MASCOT Server がインターネットに繋がっている状態でライセンシング作業を行った場合、「save now」リンクを押すとライセンスファイルが直接サーバーに保存され、すぐに利用可能な状態になります。



MASCOT server がインターネットに繋がっていない場合、登録メールに送付されたメールに添付されたライセンスファイルをネットワーク経由やフラッシュメモリなどでMASCOT Server PCまで運び、licファイルをMASCOTインストールディレクトリ下の、**config/licdb** へコピーしてください。MASCOTインストールディレクトリは通常 **C:\inetpub\mascot** ですので、licdb の場所は **C:\inetpub\mascot\config\licdb**となります。ライセンスファイル設置直後からMASCOT Serverが正常に動作します。**バージョンアップ後各データベースの構築が行われ、検索可能になるのに少し時間がかかります。**ライセンス登録の内容を確認するため、Database StatusページのLicense infoのリンクを押し、ライセンス情報が正しく表示されている事を確認してください。操作後も画面にライセンス登録を求めるエラーメッセージが出る場合は弊社までご連絡ください。



6. MASCOT Server のデータベース環境設定画面を開く

バージョンアップ後「Database Manager」 ページ上で、使用するデータベースについての**設定を確認してください**。データベースの環境設定を行う画面へアクセスするためには MASCOT のライセンス登録後 Web ブラウザで Home → Configuration Editor → **Database Manager** を開きます (下図)。

The image shows two browser windows. The top window displays the Mascot Server home page with a navigation menu. A yellow callout box points to the 'Configuration Editor' link in the menu. The bottom window shows the 'Mascot Configuration' page, where the 'Database Manager' link is circled in red. An orange arrow points from this link to the 'Database Manager' section on the home page.

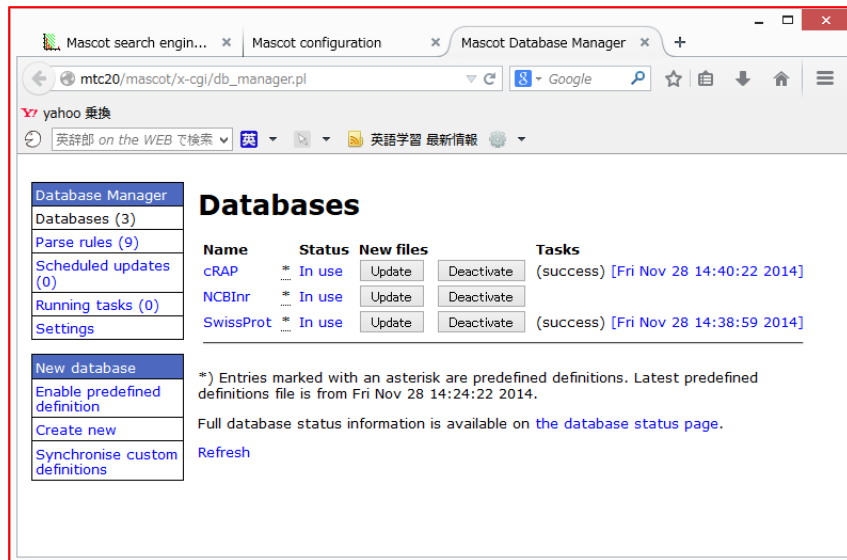
Home の Configuration Editor -> Database Manager

Mascot Configuration	
Amino Acids	Amino Acid Data
Modifications	Modification definitions
Symbols	Symbols used in chemical formulae
Enzymes	Enzyme definitions
Instruments	Fragmentation Rules
Quantitation	Quantitation Methods
Configuration Options	Global Options in mascot.dat
Database Manager	Sequence databases, Parse Rules and automated downloads

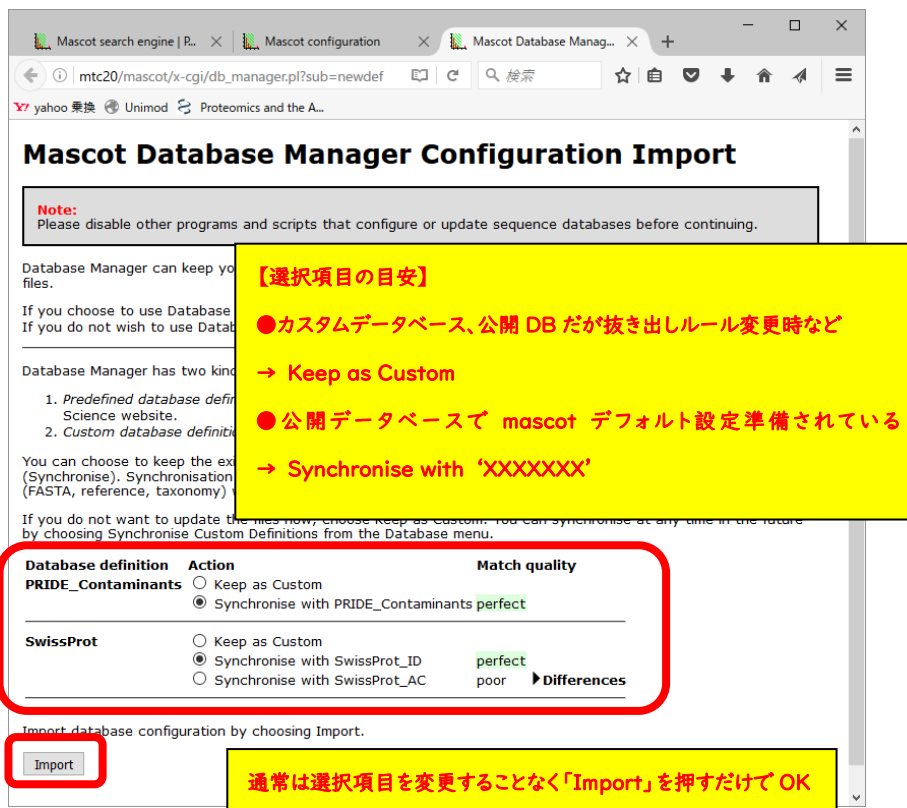
Database Manager

Configuration Editor

Database Managerを開いた際、以下のように利用中のデータベース一覧画面が表示されれば特に問題はありません。**確認は終了**です。



設定内容の確認が必要なデータベースが存在する場合、以下のような設定変更画面が現れます。



初期設定画面で提示されている設定内容は以下の2択です。

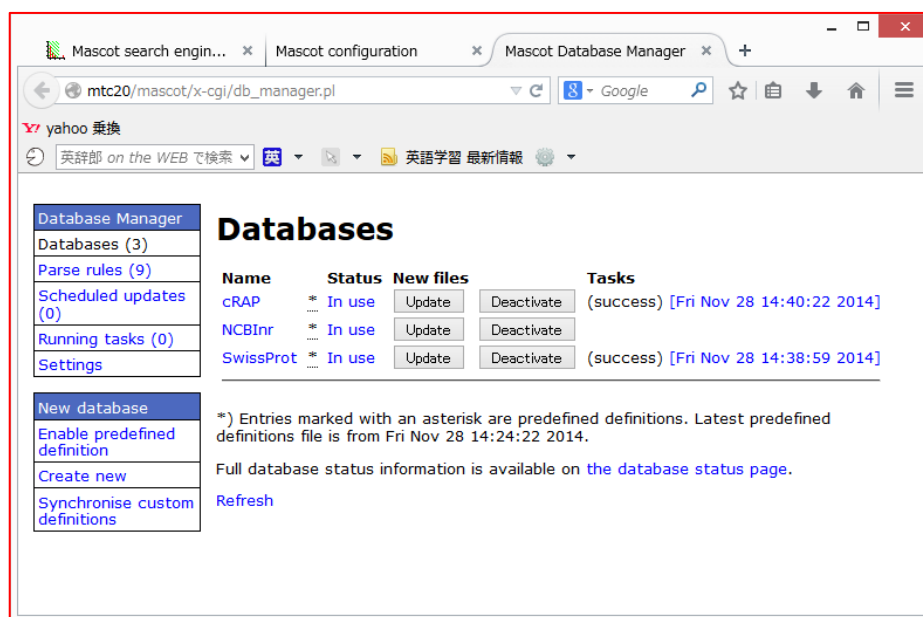
- **Keep as Custom:** 前バージョンで利用していて今後も使用予定のデータベースについて、これまでのバージョンで利用していた設定内容をそのまま継続して利用する
- **Synchronise with ---:** データベースの設定ファイルであるconfiguration.xml ファイルの設定を適用し、以降も定期的に変更がないかチェックし続ける

通常は、MASCOTがデフォルトで選択している方をご利用ください。ただし以下の2例でデフォルト設定を変える事があります。

- SwissProtのフォーマットについて意図的に設定を変えている場合など、変更されてほしくない場合は「Synchronise --」を選択せず、「Keep as Custom」にします。
- これまで使用していた設定に不満がある状態で「Synchronise --」が提示された場合は、「▼Differences」をクリックし展開して表示される内容をご覧いただき、問題がなさそうであれば「Synchronise --」の提示内容に変更してもよいかと思います。

すべてのデータベースで設定が終了したら、画面下の「**Import**」ボタンを押します。

Import ボタンを押すと画面が切り替わり、左側の「Database Manager」->「Databases」選択時と同じ画面へ移行します



7. ファイルダウンロードとデータベース構築確認

アップグレード時にswissprotデータベースファイルの使用を選択した場合、または新たにデータベースを使用するように設定変更すると、「データベースファイルのダウンロード」 → 「MASCOT用のデータベースファイル変換」 → 「検索テスト」が行われます。データベースファイルの**ダウンロード進捗状況確認**についてはDatabase manager ページのRunning tasksで、ダウンロード後の**ファイル変換や検索テストの進捗状況確認は Database Status** 画面で行います。

■ 7-1. ダウンロード進捗の確認

各データベースのダウンロード操作は「Running task」として扱われます。Taskの進捗度合いは下図のように「Tasks」セクションにて確認する事ができます。「Database Manager」画面の左フレーム、「**Running tasks**」をクリックすると、現在実行・実行待ちとなっているTaskが一覧で表示されます。Taskは「実行待ち」「実行中」「実行終了」の各セクションに分かれて表示されています（下図）。**実行したTaskが実行終了の欄へ移行し**、「Last message」の欄に「(success)'DB名'successfully updated」と表示されればダウンロード終了です。

The screenshot illustrates the Database Manager interface. The top window shows the 'Database: NIST_Human_HCD' page with a sidebar menu where 'Running tasks (1)' is highlighted. The bottom window shows the 'Database Manager tasks' page, which displays a table of tasks. A task is shown in progress, with a progress bar at 6.0%. Below the table is a 'Task log' section showing the completion of tasks with 'Last message' indicating successful updates. Red boxes and arrows highlight the 'Running tasks (1)' menu item, the '実行待ち' (Waiting) status, the '実行中' (In Progress) status, and the 'Last message' field containing '(success) 'NIST_Human_IonTrap' successfully updated.'

Title	Started	Progress
Download files for NIST_Human_HCD	Mon Feb 6 11:07:01 2017	[6.0%] Downloading <ftp://chemdata.nist.gov/download/peptide_library/libraries/human/HCD/2016_05_03

Process end time	Command	Last message
[Thu Feb 2 11:41:35 2017]	dbman_download.pl NIST_Human_IonTrap	(success) 'NIST_Human_IonTrap' successfully updated.
[Wed Feb 1 16:18:59 2017]	dbman_download.pl SwissProt	(success) 'SwissProt' successfully updated.

■ 7-2. ファイルの変換・検索テスト進捗の確認

ファイルダウンロードが終了後、MASCOT Serverプログラム側(ms-monitor.exe) が自動的にダウンロードしたファイルをMASCOT で検索できるようファイル変換を行います。変換状況は、**Database Status** (Home -> Database Status)でデータベース毎に確認できます(下図)。

各データベースの「Filename」項目に、**(Database名)_(バージョンまたは日付).fasta** と表示されています。後部の **(バージョンまたは日付)** の記述部分でデータベースの新しさを確認してください。また「Status」項目ではデータベースの現状を確認できます。

The screenshot shows the Mascot Database Status page with the following entries:

Name	Family	Filename	Status
PRIDE_Contaminants	C:/inetpub/mascot/sequence/PRIDE_Contaminants/current/PRIDE_Contaminants_*	PRIDE_Contaminants_20160906.msp	Not in use
PRIDE_Contaminants	C:/inetpub/mascot/sequence/PRIDE_Contaminants/current/PRIDE_Contaminants_*	PRIDE_Contaminants_20160908.msp	In use
SwissProt	C:/inetpub/mascot/sequence/SwissProt/current/SwissProt_*.fasta	SwissProt_2016_10.fasta	Not in use
SwissProt	C:/inetpub/mascot/sequence/SwissProt/current/SwissProt_*.fasta	SwissProt_2017_01.fasta	In use

Annotations in the image:

- 「ダウンロード後のファイル変換作業進捗を確認する場合」 (Check progress of file conversion after download)
- 「Filename」項目にはファイルのバージョン情報が含まれる (The filename contains file version information)
- Status が「In use」になれば構築完了です。 (When the status becomes 'In use', construction is complete.)

上記例のPRIDE_Contaminantsのように、2つの日付のデータベースが表示されているケースがあります。「Filename」項目と「Status」項目を見比べてください。例の上図では、日付が20160906のStatus項目は「Not in use」となっています。一方より新しい20160908の方は「In use」となっています。これは20160906の方は既に使用されておらず、新しい20160908の方が現在使用可能となっている事を表しています。ダウンロードを開始したデータベースについて、**Statusが「In use」になるまでお待ち下さい。**

8. MASCOT Server の動作確認

すべての設定後、MASCOT Server の各種動作確認をしてください。動作確認の方法はご利用者にお任せいたしますが、弊社からは以下3つの確認を提案いたします。

8-1. Database status 画面における、各データベースの Status 項目の確認

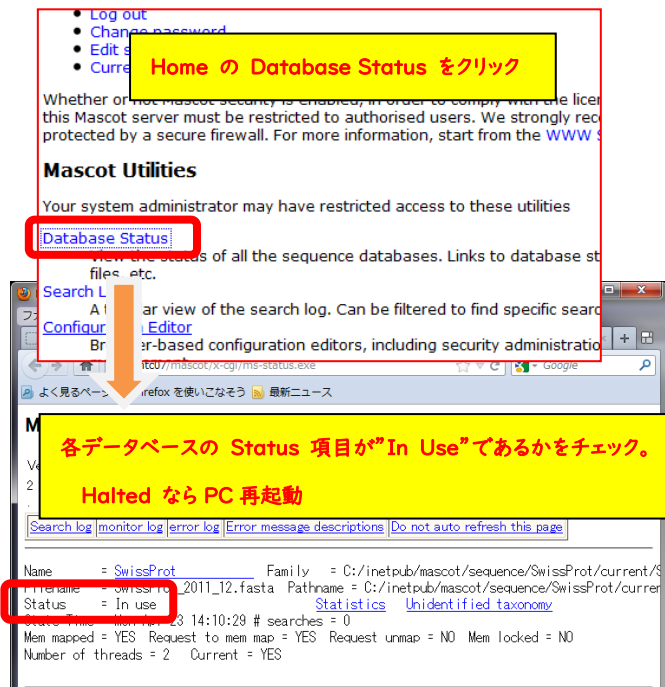
8-2. 過去の検索結果の閲覧確認

8-3. 検索テスト

■ 8-1. Database status 画面における、各データベースの Status 項目の確認

Home から「Database Status」のハイパーリンクをクリックします。

Database Status 画面にて、各データベースの「Status」項目を見ます。右図のように「In Use」であれば問題ありません。



ファイルダウンロード後のデータベース再構築ですが、

「1.データベースの構築」→「2.検索テスト」→「3.使用可能 (In use)」という過程を経ます。Status の表示が「Creating compressed files N%」となっている場合、step1 のデータベース構築中です。また status 表示が「Running 1st test」の場合、step2 の検索テスト実行中です。これらの表記は特に問題ありません。次のステップに移行するまでお待ちください。

Status が「Halted:Failed to map」となっている場合、**まずは PC を再起動してもう一度ご確認**ください。同じエラーが出た場合、status 項目のすぐ隣に現れているハイパーリンク「compression warning」「Check error log」をクリックし、エラー内容を確認してわかる範囲でご対処頂き、ご不明な点がございましたら弊社までご連絡ください。

■ 8-2. 過去の検索結果の閲覧確認

Database Status 画面を確認後、過去の検索結果の閲覧に問題がないか確認します。

Home から Search Log のハイパーリンクをクリックします。

The screenshot shows the Mascot search log interface. The left sidebar contains navigation links: Log in, Log out, Change password, Edit settings, Current session information, Mascot Utilities, Database Status, Configuration Editor, and Mascot Daemon. The 'Search Log' link is highlighted with a red box and an arrow pointing to the main log table. The main table displays search results with the following columns: Job#, PID, dbase, User Name, Email, Ti, In, and start time. The table contains several rows of data, with Job #4273 highlighted in red.

Job#	PID	dbase	User Name	Email	Ti	In	start time
4274	1860	SwissPro	takaesu		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Wed Feb 01
4273	5608	SwissPro	takaesu		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Wed Feb 01
4272	7712	Human_ES	takaesu		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Thu Jan 26 1
4271	1160	Human_ES	Monitor Test DB 0		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Tue Jan 24 1
4270	1860	SwissPro	Monitor Test DB 1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Mon Jan 23
4269	7444	SwissPro	takaesu		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Mon Jan 23
4268	5972	NIST_Sc	takaesu		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Mon Jan 23
4267	7692	NIST_Sc	takaesu		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Mon Jan 23
4264	9088	NIST_Sc	Monitor Test DB 0		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Fri Jan 20 1
4262	7664	testSL	Monitor Test DB 0		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Mon Jan 16
4261	728	NCBIr	iusami		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Thu Jan 12 1
4260	2160	SwissPro	iusami		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Thu Jan 12 1
4259	1876	NCBIprot	iusami		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Thu Jan 12 1

任意の Job#をクリックし過去の検索結果が問題なく表示される事を確認してください。これまでと同じフォーマット形式の画面が現れない、または表示時に赤字の Warning が出るようになった場合は、(以前のバージョンでも出ている場合を除く、)お手数ですが弊社までご連絡ください。

■ 8-3. 検索テスト

検索のテストについては、いつも実施している方法で検索してください。手元に適切なデータがない場合、DVD の mskk/sampledata の中に含まれている各種 mgf ファイルを使って検索を試みたり、質量分析装置の付属ソフトウェアからの検索を行ってみてください。

うまくいかない場合、次頁の手順で順に検索のテストを行って頂き、どの段階で問題が生じるかご確認ください。

[検索でエラーとなる場合にお試し頂きたい事]

1. **すべてのケース**: データベースを変えて検索してください。

上記方法で検索可能だった場合: 最初に選択したデータベースに問題が生じている可能性があります。Home -> Database Status ページで該当データベースの status 項目をご覧ください(本資料の P27~をご参照ください)。また問題が生じているデータベースの名称を確認するとともに、MASCOT Server の logs ディレクトリにある、monitor.log, errorlog.txt ファイル内に該当データベースに関するメッセージがないかご覧ください。ご不明な場合はこれらのファイルを弊社までお送りください。

2. **Daemon や各社分析ソフトウェアから検索を行っている場合**: 検索手段を変えて検索してください。
 - 他のソフトウェアからでなく MASCOT Server PC にある WEB ブラウザから、Search log などにある過去の検索結果を開き、再検索などで検索テストを行ってください。
 - 他端末のブラウザや Daemon、メーカー付属の解析ソフトウェアがあればそこから検索を行ってください。

*ブラウザからの再検索方法が良くわからない場合、とりあえず home->Search log から**過去の検索結果を開き、再検索を行う方法**などをご提案します。

上記方法で問題が解決した場合: ネットワークや MASCOT セキュリティシステム、Daemon や各種ソフトウェアのバージョンの組み合わせに何らかのトラブルが発生している可能性があります。関連のありそうな項目について簡単にご確認頂いた後、弊社までトラブルの内容をご連絡ください。

9. MASCOT Daemon アップグレード(別資料)

MASCOT Server のバージョンアップに伴い、MASCOT Daemon のバージョンアップも行って頂く事をお勧めいたします。Daemon のアップグレード手順に関しては 別資料「Mascot Daemon マニュアル」

URL: http://www.matrixscience.jp/pdf/jap_mdaemon_manual.pdf

の「2. インストールと環境設定」-「2.3 バージョンアップ」にまとめてありますのでそちらをご覧ください。

● 技術サポート

アップグレードに関してご質問等ありましたら弊社技術サポートにご連絡ください。

電子メール :support-jp@matrixscience.com

電 話 :03-5807-7897

ファックス :03-5807-7896